

## 腹部 腹部立位正面 (P→A)

### ■ 撮影方法

| 腹部立位正面 (P→A) |                               | 85kV 400mA フォトタイマ 150cm (+) |
|--------------|-------------------------------|-----------------------------|
| 体 位          | 立位・後前方向・腹部正中と肋骨弓下縁を撮影台の中心にする。 |                             |
| 中 心 線        | 肋骨弓下縁の高さで正中に入射する。             |                             |

### 腹部立位正面 (P→A)



肋骨弓下縁の高さで正中に入射

### ■ 画像評価

#### X線画像のポイント



横隔膜を描出する。濃度は側腹線条が見える程度で、下腹部が濃度不足にならず腸管ガス像を明瞭に描出する。

#### 撮影技術ポイント



適正な撮影条件にて撮影する（条件，マーク位置）

横隔膜が十分に含まれるように撮影する

側腹線条が観察できるような撮影条件にする

## 腹部 腹部臥位正面 (A→P)

### ■ 撮影方法

| 腹部臥位正面 (A→P) |                                                    | 85kV 400mA フォトタイマ 150cm (+) |
|--------------|----------------------------------------------------|-----------------------------|
| 体 位          | 背臥位・前後方向・腹部正中をカセットの中心，下縁を恥骨結合下端に合わせる．最大呼気停止にて撮影する． |                             |
| 中 心 線        | 腸骨稜上縁に入射する．                                        |                             |

### 腹部臥位正面 (A→P)



腸骨稜上縁に入射恥骨を含める

### ■ 画像評価

#### X線画像のポイント



恥骨結合下端を必ず含み描出する．濃度は下腹部が濃度不足にならず，側腹線条・腸腰筋・腸管ガス像を明瞭に描出する．肝臓，腎臓，脾臓などの境界を描出する．

#### 撮影技術ポイント



適正な撮影条件にて撮影する（条件，マーク位置）

基本的に恥骨部分，腎陰影が十分に含まれるように撮影する

側腹線条が観察できるような撮影条件にする